

精密形状測定技術



概要

測定作業の生産性向上をめざして、最適化(改善)に向けた測定実習を通して、形状測定機器のシステム上の特徴とその精度を理解し、形状測定に必要な技能・技術を習得する。

対象者

測定・検査作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

コース番号	日 程	時 間	日数	総時間	定 員	受講料
4M011	8/3(木)、8/4(金) 8/2(水)、8/3(木)	9:00~16:00	2	12H	10人	8,000円

内 容

1. コースの概要及び留意事項
 - (1) 訓練コースの概要説明
 - (2) 受講者が有する専門的能力の確認
 - (3) 安全上の留意事項
2. 形状の測定法
 - (1) 精密測定の概要
 - (2) 幾何公差および幾何偏差の定義
 - (3) 幾何偏差の測定法
 - (4) 真円度測定機
 - イ. 真円度測定機の原理と構造
 - ロ. 真円度の評価方法
 - (5) 表面性状に関する定義とパラメータ
 - イ. 表面粗さ測定機の原理と構造
 - ロ. 表面性状の評価方法
 - (6) 輪郭形状測定機
 - イ. 輪郭形状測定機の原理と構造
 - ロ. 輪郭度及びその他の幾何偏差
3. 測定実習
 - (1) 幾何偏差測定サンプルの提示と実習のポイント
 - (2) 輪郭形状測定サンプルの提示と実習のポイント
 - (3) 表面粗さ測定サンプルの提示と実習のポイント
 - (4) 測定結果から加工方法及び加工条件の評価・考察
4. まとめ
 - (1) 質疑応答
 - (2) まとめ



表面性状・輪郭形状測定機

使用機器 真円度測定機、表面性状・輪郭形状測定機

使用テキスト 自作テキスト

受講者持参品 筆記用具

講 師 北陸職業能力開発大学校 講師

ステップアップ

P富山

三次元測定技術

**受講者
事業主の声**

※新規セミナーのため、受講者の声はありません